



安全データシート

2019年2月20日

§1. 製品および会社情報

製品名 : ネオ クリーナー LT (発注番号 : 099 822、099 823)
 会社名 : 販売 : ホルベイン画材 (株)
 製造 : ホルベイン工業 (株)
 住所 : 542-0064 大阪市中央区上汐 2-2-5
 電話 : 06-6191-7722
 担当部署 (連絡先) : 技術部
 住所 : 579-8063 東大阪市横小路町 4 丁目 10 番 52 号
 電話 : 072-985-1221 作成者 : 荒木豊

§2. 危険有害性の要約

危険分類 : 引火性液体
 物理的及び化学的危険性 : 可燃性なので火源の存在下にて燃焼する。
 引火性液体 : 区分 3
 急性毒性 (嚥下、吸入) : 区分 4
 皮膚影響 : 区分 2
 皮膚感作性 : 区分 1 / アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ
 呼吸器感作性 : 区分 1 / 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
 眼球影響 : 区分 2B / 眼刺激
 特定臓器 (中枢神経例) : 区分 3
 水性環境有害性 : 区分 4
 危険有害性情報 : 可燃性液体、飲み込むと有害のおそれ



§3. 組成及び成分情報

成分 単一製品・混合物の区別 : 混合物 (*印 : 主成分)

組成 (化学名又は一般名)	化学式又は構造式	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
溶剤 : ナフサ (水素化処理重質石油) *	-	64742-48-9	9-1690
柔軟剤 : スクワラン	C ₃₀ H ₆₂	111-01-3	9-1317

* : C₉~C₁₃のナフテン~イソパラフィン系炭化水素を主成分とする。これ自体が混合物なので組成表示できない

§4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にする。
 飲み込んだ場合 : 大量を飲んだ場合を除き、無理に吐き出させず、医師の処置を受ける。
 眼に入った場合 : 清浄な流水で 5 分以上洗い流し、医師の手当を受ける。
 皮膚についた場合 : 皮膚についた部分を水および石鹸で洗い流す。
 医師に対する特別注意事項 : 灯油事故に倣う。

§5. 火災時の措置

消火方法 : 製品自体に火災時の熱で爆発する可能性があるため、まず周囲の設備に散水して冷却する。可燃物を火災現場から隔離し、風上から消火する。

消火剤 : 炭酸ガス (初期火災)、粉末、泡消火剤 (大規模)
 消火時の注意 : 不完全燃焼ガスには一酸化炭素などの有毒ガスが含まれる。
 消火を行う者の保護 (保護具等) : 前項により、消火活動の際には保護マスク着用が望ましい。

§6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 換気を行う。
 除去方法 : 流出した液をウエースなどで拭き取る。あるいは砂や土をかける。
 二次災害の防止策 : 全ての火気と着火源を排除する。
 環境に対する注意事項 : 下水や河川への流出を避ける (下水へ流してはいけない)。

§7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼や体内に入らぬよう注意する。皮膚に長時間あるいは繰り返し触れないようにする。蒸気を吸い込まぬようにする。取り扱い後は手洗い、うがいを励行する。火気、静電気、火花などの着火源のない常温の換気のよい場所で取り扱う。
 保管 : 火気厳禁。直射日光を避ける。

§8. 曝露防止及び保護措置

曝露防止 : 排気装置を設けるのが望ましい。
 保護措置 : 必要に応じて有機ガス用防災マスクや換気マスクを着用する。
 管理濃度 : 197ppm (1,200mg/m³、TLV、全炭化水素類)

TLV : 曝露許容濃度、Threshold Limit Value (ほとんどすべての作業者が毎日繰り返し暴露しても有害な健康影響が現れないと考えられる化学物質の気中濃度)

§9. 物理的および化学的性質

色・形状 : 無色透明低粘度液体
 臭気 : 弱い石油臭
 pH : -、適用外
 物理的状態が変化する特定の温度 (沸点、沸騰範囲、融点)
 沸点範囲 : 147~199℃
 融点 : -40℃以下
 引火点 : 40℃以上
 発火点 : 200℃以上
 燃焼範囲 : 0.6~7.0% (空気中でのおよその容量%)
 蒸気圧 : 0.21 kPa (20℃、1.57mmHg)
 比重 : 0.77
 溶解性 (溶媒に対する溶解性) : 水に不溶。石油溶剤に可溶

§10. 安定性及び反応性

燃焼性 : 可燃性
 安定性 : 通常の実験条件下で安定
 反応性 : なし
 避けるべき条件 : 加熱、裸火、スパーク、その他の発火源
 避けるべき材料 : 強酸化剤
 分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、水

§11. 有害性情報

急性毒性 経口毒性 : LD₅₀ = 15,000mg/Kg 以下。嚥下自体での毒性は低いが、誤って飲み込んだり吐き出したりした際に呼吸器系に吸入された液体によって気管支炎や肺水腫を起こし得る。

- 吸入毒性：高濃度の蒸気は目および呼吸器官を刺激し、頭痛やめまいを誘発させる事がある。麻酔性があり、他の中枢神経系に影響を及ぼす事がある。
- 眼球への重篤な損傷性/眼刺激性：(試験結果において)短い時間、軽度な不快感を及ぼす。人により刺激を感じ、結膜の赤変、角膜の混濁を誘うことがあるが眼組織を損傷しない。
- 経皮毒性：体質により刺激を感じ、アレルギー反応を示し、何度も繰り返して(あるいは長時間)接触すると、皮膚炎を起こす事がある。
- 発癌性：IARCは、石油系溶剤を「IARC Group 3 (人に対し、発癌性について分類できない物質)」に分類している。
- 短期・長期での他の健康有害性：ヒトでの経験や実験データから、亜慢性、慢性の呼吸器系又は皮膚感作性、変異原性、生殖毒性、発がん性、標的臓器毒性(単回暴露又は反復暴露)、吸引毒性その他の健康影響が推定されるが、明白な知見はない。

IARC : International Agency for Research on Cancer、国際癌研究機関

§12. 環境影響情報

- 生態毒性：水生生物に対して有害性があるとは予測されない。
- 残留性・分解性：易生分解性であると予想される。

§13. 廃棄上の注意

- 廃棄：家庭で使用するレベルの量なら、ビニール袋に納めたウェース類にしみ込ませ、水を散布して密封し、可燃ゴミとして処理できる。危険物の規制に関する規則第41条以下の法規に従い、その他、地方および国の関連法規に従う。

容器・包装の適正な処理方法：地方自治体および国の回収措置に従う。

§14. 輸送上の注意

- 国連輸送名：ナフサ
 国連番号：3295
 国連分類：クラス3
 パッキンググループ/容器等級：Ⅲ

§15. 適用法令

- 消防法：危険物第4類 第二石油類 (登録番号：4041-143963)
 危険等級：Ⅲ
 危険物の規制に関する規則：第41条以下の法規に従う
 労働安全衛生法：危険物：引火性のもの
 有機則：第3種有機溶剤
 船舶安全法・海洋汚染防止法：高引火性液体
 高圧ガス保安法・毒劇物取締法：-

§16. その他

- * 本シートは、製品を安全にご使用頂く為に必要な注意事項をまとめたもので、通常的な取り扱いを対象としています。使用方法は、これをご参照の上で使用者の責任に置いてお決め下さい
- * 記載内容は情報提供であって、いかなる保証を与えるものではありません
- * 記載情報は当社所有の情報によっていますが、その完全さを保証するものではありません
- * 記載内容は法令の改定や新しい知見によって変わる事があります